

事業所職員向け

令和3年度 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○	親子療育のため、利用人数が多いと密度が高く、入りにくさを感じることもあるため、適切な人数が保てるように利用調整の必要がある。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		日によって利用者数変動するので、適切な配置については、柔軟に行いたい。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○	療育に伴う空間では、工夫しているが、建物全体では、特性に応じたものではないので、移動の際には、職員が必ず確認するようにしている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○	トイレ・手洗いという水回りの設備が、療育室に隣接していない点について、子どもたちの集中が途切れないように、工夫した言葉かけを行っている。施設設備の改善に関しては、状況の報告と対策について正規のルートで継続して取り組む。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による評価はまだ受けていないが、今後は委員会設置に向けて、計画を立てる予定がある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的実施している。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		保護者の思いを反映した計画づくりを行っている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたものを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		具体的な計画を立てている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		実施している。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		常勤が中心になって、チームで行っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		固定化しないように、年間・月間を見通した計画を立てている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○		特性に応じた計画を立てている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日・毎回必ず、実施している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		毎日・毎回必ず、実施している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日々の経過と個人の支援記録は毎日とり、全員が見て確認できるようにするとともに、保管している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		最低半年に一度はモニタリングを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	サービス担当者会議は実施されていないが、開催されれば、担当者が出席することにしている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	個別に、必要性がある場合にはこちらから積極的に連携しているが、一般的には実施できていない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○	対象児童が在籍していない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○	対象児童が在籍していない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	対象となる児童はいないが、移行支援が必要になる事例においては、連携を行う準備はできている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	関係機関より要望があった時には、連携を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	個人的にはセンターの案内に応じて、研修に参加しているが、事業所としての取り組みにはなっていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	この2年間、あえて交流は行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	参加しているが、2年間、会議の開催は少ない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	親子通園なので、常に保護者と連携をとっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	今年度より実施しているが、集団懇談など、大勢が集まる会は、あまりできていない。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時に説明をし、変更がある場合には、お知らせしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	半年に一度は提示し説明をしている。同意をいただき保存している。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	定期的なものと、必要に応じて、相談には乗っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者会は開いていたが、今年度は感染予防の観点から1度しか開催できていない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	親子通園なので、保護者からの要望にはすぐに対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	予定や行事の案内などは毎月20日に定期的に案内している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報は保護している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	特性に応じた方法をとっている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	できていない

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	避難訓練は、利用者・保護者参加で実施している。マニュアルの周知については、保護者にはできていない。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	打合わせは行うが、実際の訓練は実施できていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	契約時に実施している。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギーについての内容確認は行っているが、医師の指示書は提出してもらっていない。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	実際に事例があった時には、検討を行い研修を実施している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	研修を行っている。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	虐待防止に関わる委員会を設置し、身体拘束についても指針を作成し、組織的に取り組んでいる。

保護者等向け

令和3年度 児童発達支援評価結果

回答数 19名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	無回答	ご意見
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19				
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	19				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19				
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、サービス計画*1が作成されているか	19				
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	1			
	6 児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6	7	5	1	動物園など
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19				
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19				
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19				
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	7	2		
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2			
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19				
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2		1	
14 個人情報に十分注意しているか	18	1				
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	17	1		1	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	6	1	1	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	1			
	18 事業所の支援に満足しているか	18	1			

*1 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。